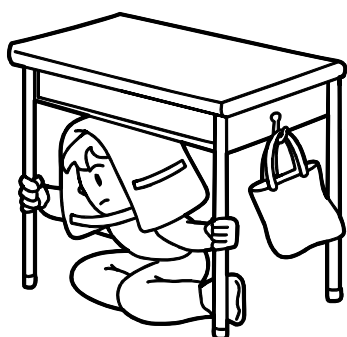


河内小だより

平成22年9月7日 No.21



9月1日(水)は、1923年(大正12年)9月1日に起きた「関東大震災」にちなんで「防災の日」として定められています。過去の災害を教訓に、災害に備える大切さを訴え、全国でいろいろな催しが行われていました。

河内小学校では、全てのことに対処することには難しい現実がありますが、風水害や火事も含め、避難訓練を通して防災意識の向上を図っています。日本は地震の多発国です。阪神大震災では、家具などの下敷きになってたくさんの人が亡くなりました。いちばん困ったのは飲み水がないことだったそうです。各家庭で、いざというときの備えをしておきたいものです。

気象観測が始まって以来の暑い夏

赤とんぼや虫の声が聞かれるようになってきましたが、いつまでも暑い日が続くこの頃です。気象観測が始まって以来の暑さであると報道されていましたが、学校のプールサイドにいと、立っただけで汗が噴き出してきて、暑さを実感します。

昨年の学校だより9月4日号に、次のような文を掲載していました。

「異常気象」という言葉をよく聞くようになったと思うこの頃です。今年も記録的な長梅雨と日照不足で、いろいろなところに影響が出ているようです。野菜や身近な草花などを例として、自然災害も含めて、自然と向き合いながら生きている、わたしたちの姿を考えさせる良い機会にしたいものです。

昨年度は長雨冷夏、今年度は猛暑、気象の変化の大きさに驚くことが多くなってきました。気候に関しては、ほどほどが一番だと思っております。

社会の仕組みだけではなく、変化の激しいこれからの未来を生きていく子どもたちに身に付けてほしいことの1つは、健康でじょうぶな体をつくることです。適度な睡眠・栄養・運動をして、規則正しい生活と学習習慣を身に付けることによって実現してほしいと願っています。そのためには、家族の皆さんの協力と励ましが欠かせません。



8. 6 平和集会

8月6日(金)本校体育館で、児童会の役員が進行しながら平和集会を開きました。身近なことから題材を選んだ作文発表もあり、平和について考えるよい機会となったことと思います。

お 礼

今年も8月29日(日)に、体協を中心とした皆様方に、広い運動場の隅々まで草を抜いたり清掃したりしてくださり、とてもきれいになりました。早朝より暑い中ありがとうございました。